



9月1日～9月15日の活動報告

●「フィンランド共和国経済視察」 第1回事前勉強会

【日時】9月3日(火) 15:30～17:00

【場所】ホテル日航金沢(対面開催のみ)

【参加】21名(含む、視察団メンバー16名)

フィンランド共和国経済視察への参加者を対象に事前勉強会を開催した。冒頭、視察団の団長を務める金井会長が挨拶し、今回の視察の背景や目的を確認し合い、意義深い視察にしたいと決意を述べた。

まず、駐日フィンランド大使館の志垣上席商務官からフィンランドの概要、視察ポイント、ウェルビーイング経営を志向するフィンランド人の考え方等について、次に、(株)デジタルホールディングスの菅原DE&I推進室長からフィンランド企業視察で学んだ先進的な知見を活かした社内改革について、講演があった。

参加者は北欧に対する理解を深め、10月の視察に向けてより一層期待感を高めていた。



(担当：小島・宮原)

●第11回北陸産学連携懇談会

【日時】9月4日(水) 13:00-14:50

【場所】金沢美術工芸大学

【出席】20名

会員大学長と北経連役員との北陸産学連携懇談会を開催し、大学からは金沢美術工芸大学の山村学長はじめ11名、北経連からは金井会長はじめ9名が出

席した。冒頭、金井会長が挨拶し、産学連携で取り組むべき課題は多く、「スマート・リージョン北陸」の実現に向けて連携を深化させたいと述べた。

自由懇談では「産学連携活動における重点分野と経済界・大学への期待」をテーマに、各大学が重点的に取り組む活動を紹介し、大学と経済界から双方への期待や要望について意見交換を行った。

大学からは、企業との共同研究や自治体等の地域連携の事例、大学発スタートアップ、リスキル教育プログラム、産学融合研究拠点、産学官金連携プラットフォーム等の紹介があった。

その後、北経連からDX推進とデジタル人材育成、カーボンニュートラルに向けた森林研究、産学連携マッチング、理系と文系の学生比率是正、地域の人口減少問題等について発言があり、活発な意見交換が行われた。

最後に稲垣副会長が閉会挨拶の中で、北経連が来年度に第六次中期アクションプラン(5か年中期計画)を策定することに触れ、産学連携を更に活性化すべく大学の協力継続を依頼した。(担当：坂井)



●金沢美術工芸大学見学会

【日時】9月4日(水) 15:00-16:40

【場所】金沢美術工芸大学

【参加】32名

新たな価値創出委員会と総合対策委員会の共催で金沢美術工芸大学見学会を開催した。

山村学長が開会挨拶と概要説明を行い、寺井学長補佐社会連携担当理事が同校の社会共創センターの産学連携・地域連携の取組みについて紹介した。

金沢マラソンの完走メダルや菓子のパッケージ、病院のステンドグラス風装飾、眼鏡フレーム、大手ゲーム会社のキャラクターなど身近で有名なデザイン制作といった連携実績の他、卒業生の幅広い分野での活躍など同校の新たな面が数多く見られた。

彫刻、工芸、デジタルコンテンツ等を制作する工房、学生の作品を展示するアート commons、大学で所蔵する作品を展示するアートギャラリー、附属図書館等を見学し、質疑応答の後、新たな価値創出委員会 北村委員長の挨拶で閉会した。(担当:坂井)



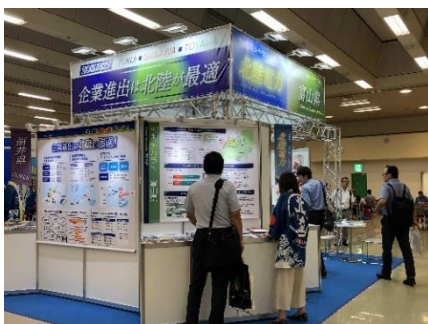
●国際フロンティア産業メッセへの出展 (企業誘致活動)

【日時】9月5日(木)～6日(金)

【場所】神戸国際展示場

北陸三県と北陸電力(株)・北経連で構成する北陸地域企業誘致連絡会(北陸国際投資交流促進会議)は、西日本最大級の総合展示会「国際フロンティア産業メッセ」に出展した。

北陸の立地環境、支援制度、働きやすさ・暮らしやすさを紹介し、北陸地域への企業進出をアピールした。北経連は、北陸新幹線など社会基盤整備状況や、北陸のシェアトップ企業を紹介した。



(担当:酒井、森岡)

●三経連経済懇談会

【日時】9月10日(火)～11日(水)

【場所】ホテルフジタ福井、日華化学(株) NICCA イノベーションセンター、永平寺

【参加】67名

冒頭、金井会長が挨拶し、北海道・東北の両経連からの災害義援金への御礼と、北陸の景況と課題、北経連の取組みを紹介した上で、「震災からの復旧・復興と『新・地方創生』に向けて」をテーマに、三経連が連携して取り組むべき課題について幅広い視点から活発に意見交換したいと述べた。

●意見交換(北経連からの発言)

- 1 「能登半島地震からの復旧・復興」
 - ・東田専務理事 被災・復旧状況報告
 - ・牧野常務理事「産業復興・再生ビジョン」報告
- 2 「地域の付加価値向上に向けた産業振興」
 - ・清川常任理事 産学官連携深化による産業振興
 - ・大井常任理事 北海道への質問(洋上風力参入支援)
- 3 「多様な人材の活躍推進」
 - ・林副会長 女性活躍等、多様性・一体性への取組み
 - ・光野常任理事 東北への質問(副業・兼業促進)
- 4 「『新・地方創生』に向けた経済連合会の役割」
 - ・八木副会長 北陸新幹線早期全線開業、域内連携強化

●要望活動

三経連としての決議を採択。本決議を要望書とし、11月13日(水)に三経連合同で実施予定。



- 視察:日華化学(株) NICCA イノベーションセンター 快適性・機能性・創造性を高める工夫の数々に触

れ、社内コミュニケーション活発化、イノベーション推進につながる大きなヒントを得た。

その後、永平寺を視察。当地では外国人観光客が増加し続けており、その魅力を体感した。



※北海道・東北経済連合会の取組みについて、
末尾の【特集】に掲載。(担当：酒井)

今後の行事予定

◆締切迫る！北経連セミナー

防ぎたい「取るだけ育休」「子持ち様」 人事担当者のための男性育休講座

【日時】9月26日(木) 13:30-15:30

【形式】オンライン (zoom)

【対象】北経連会員(経営者、人事担当者など)
※貴社のご担当の方にご案内ください。

【講師】(株)ワーク・ライフバランス
コンサルタント 山崎純平氏

【内容】講義とグループワークを通じて、更なる
男性育休取得促進を目指します。

【詳細】<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/1972.html>

【申込】9月20日(金)まで

<https://forms.office.com/r/PTy62p6EgN>

(担当：日野、落合)

◆締切迫る！北経連セミナー

ウェルビーイング経営とは何か？

先進企業に学ぶ、考え方と実践

【日時】9月27日(金) 13:30-15:00

【形式】オンライン (teams)

後日、録画配信あり(要申込)

【対象】北経連会員

【内容】先進企業から実践的に学びます

●「経営戦略としてのウェルビーイング

～丸井グループの取り組み～

(株)丸井グループ 取締役上席執行役員 CWO

ウェルビーイング推進部長 小島玲子氏

●「一人ひとりが活躍する DE&I へ

～新たな挑戦と失敗の歩み～

(株)デジタルホールディングス/(株)オプト

DE&I 推進室 室長 菅原智華氏

【詳細】<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/1981.html>

【申込】9月24日(火)まで

<https://forms.office.com/r/k18yR53PDa>

(担当：日野、落合)

◆【参加者募集】北陸環境共生会議

カーボンニュートラル BASE 北陸 (CNBH) キックオフイベント

※残席僅かですが9月20日(金)まで申込期間を延長!

北陸地域の企業・行政が一体となって脱炭素・カーボンニュートラルを推進する情報交換プラットフォーム「カーボンニュートラル BASE 北陸」を立ち上げ、キックオフイベントを開催します。

【日時】10月3日(木) 13:30-15:30

【場所】ホテル金沢(第1部のみオンライン併催)

【内容】第1部：北陸三県、他地域の CN の取組み

第2部：参加者同士の情報交換会

【主催】北陸環境共生会議

【詳細】<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/1979.html>



【申込】9月20日(金)まで

<https://forms.office.com/r/TjjhdXEXhV?origin=prLink>
(担当:宮下)

◆ 会員懇談会 (全会員対象)

●石川会場

【日時】10月31日(木) 14:30-18:00

【場所】ホテル金沢 (オンライン併催)

【テーマ】デジタルトランスフォーメーション

●富山会場

【日時】11月25日(月) 14:30-18:00

【場所】富山電気ビル (オンライン併催)

【テーマ】カーボンニュートラル

●福井会場

【日時】2025年2月4日(火) 14:30-18:00

【場所】ホテルフジタ福井 (ザ・グランユアーズ
フクイ) (オンライン併催)

【テーマ】ダイバーシティ&インクルージョン

(担当:浅井)

お知らせ

■北陸未来共創フォーラム 全体情報交換会 製品の独自性・比較優位性確保のために必要なこと

(独)製品評価技術基盤機構*が、製品の市場での
関心、消費者の信頼を得るために必要となる客観的
指標 (F S C 認証、I S O 認証等) の確立と活用
(認証取得) に関する先行事例や国際動向を紹介し
ます (交流会も開催)。

※経済産業省所管の独立行政法人。工業製品の評価、市場創出
等を行う。<https://www.nite.go.jp/nite/index.html>

【日時】9月27日(金) 15:00~17:00

【場所】ホテル日航金沢 鶴の間

【対象】新製品開発等に携わる部署の方など

【詳細】<https://hokuriku-mirai.jp/news/detail/84>

【申込】<https://forms.gle/RNyvrWwZAEGJ1C16A>

【問合せ】金沢大学 先端科学・社会共創推進機構
TEL: [076-264-6113](tel:076-264-6113) (担当:松木、坂井)

■産業技術総合研究所・北陸産業活性化センター

イノベーションシーズ講演会 (北経連後援)

産総研デジタルものづくりに関する最新技術を
テーマに講演会を開催します。

【日時】10月3日(木) 13:30-16:20

【場所】富山県民会館(富山市新総曲輪4-18)

【内容】金属3Dプリンタを使った産業製品製造、
繊維技術とエレクトロニクスを融合させた
スマートテキスタイル等の研究

【主催】(国研)産総研北陸デジタルものづくりセン
ター、(一財)北陸産業活性化センター

【詳細】<https://www.hiac.or.jp/event/1746/>

【申込】9月27日(金)までに下記から申込

<https://forms.office.com/r/aMA8iTxWUj>

【問合せ】産総研 講演会事務局

Mail: M-toyamakoen2024-ml@aist.go.jp

(担当:松木、坂井)

■産業技術総合研究所からのお知らせ

サーキュラーエコノミー×高機能素材分野 の未来と今 (北経連後援)

産業総合技術研究所における材料・科学領域を始
めとした技術シーズや社会課題の解決に向けた取組
みを紹介します (見学会も併催)。

●シンポジウム

【日時】10月31日(木) 13:00-18:00

【場所】ANAクラウンプラザホテル金沢

【内容】複合材料、脱炭素、サーキュラーエコノミ
ー、資源循環などの研究開発



●革新複合材料研究開発センター見学会

【日時】11月1日(金) 10:00-12:00

【場所】金沢工業大学 やつかほりサーチキャンパス
※金沢駅から送迎バスあり(事前予約制)

【詳細】<https://unit.aist.go.jp/mmri/ja/events/bil-mmri-sympo2024.html>

【申込】10月18日(金)まで

<https://unit.aist.go.jp/mmri/ja/events/bil-mmri-sympo2024-applicationpage.html>

※見学会のみの申込みは不可。

【問合せ】産業技術総合研究所

Mail: M-mmri-symposium-ml@aist.go.jp

(担当:松木、坂井)

■(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構(JEED)富山支部 「高年齢者活躍推進セミナー」開催

【日時】10月22日(火) 14:00-16:00

【場所】富山県民会館 304号室

【内容】モチベーションアップ!

～高齢社員が活躍するヒント～

- 「組織と個人が協働で取り組む『キャリア自立』
～4つの”ステップ”～」

ICHIGEN CAREER BRIDGE 代表 立花元氏

- 企業事例発表

大和ハウス工業(株) 組織開発部長 菊岡大輔氏

【詳細・申込】[高年齢者活躍推進セミナー](#)

【問合せ】JEED 富山支部 高齢・障害者業務課

TEL 0766-26-1881 (担当:澤田)

■厚生労働省委託キャリア形成・リスクリング推進事業 従業員が能力を発揮できる組織作り

技術革新や社会情勢が急激に変化し、従業員が主体的・自律的にキャリアを考える必要性が増す中、

企業が取り組むべき支援、従業員が能力を発揮できる組織作りについて考えます。

【日時】11月22日(金) 13:00-16:00

【場所】金沢港クルーズターミナル

【内容】<https://carigaku.mhlw.go.jp/eventsch/90124/>

●相談コーナー

- ・社員のリスクリング(学び、学び直し)
- ・多様な働き方と待遇差の解消
- ・採用強化、マッチング向上、定着促進等

●セミナー

【申込】https://carigaku.mhlw.go.jp/evt/a18sym/?post_id=90124

【問合せ】石川キャリア形成リスクリング支援センター
TEL: 076-254-0067 (担当:日野)

■ジェトロ・ニューデリーからのお知らせ

【ウェビナー】インド M&A/投資の実務

【日時】9月20日(金) 13:30-14:50 (日本時間)

【形式】オンライン開催(ZOOM)

【内容】インド M&A/投資の経験豊富な専門家による実務のポイント

- ・最適なパートナー企業(買収ターゲット)選定
- ・規制、契約、法務 DD の実務
- ・留意すべき税務

【詳細・申込】<https://www.jetro.go.jp/events/ind/89688929cb450c57.html>

【問合せ】ジェトロ・ニューデリー事務所

Mail: IND-info@jetro.go.jp

(担当:小島、成瀬)



特集

北海道経済連合会と東北経済連合会の取組み紹介

(9月10日 第27回三経連経済懇談会)

1. 北海道経済連合会

(1) 「北海道胆振東部地震」からの復旧・復興に向けた取組み

- ・ 会員に被害状況・要望事項を聴取、意見とりまとめを実施。発生5日後に経産大臣と各経済団体・中小企業団体の意見交換を実施し、被害実情と経済界の要望を訴求。
- ・ 9月下旬に緊急要望書を国へ提出、10月中旬に東北・北海道経連連名で副総理等に要望。

【北海道胆振東部地震】2018年9月6日未明発生、道央圏内陸部震源、M6.7、最大震度7、死者41名、損壊建物16,550棟、被害額約1,650億円

【インフラ設備状況】高速道路、国道等22路線全て通行止め、鉄道・航空全路線・全便運休、道内最大規模火力発電所「苫東厚真発電所」被災、道内全域295万戸停電発生

(2) 北海道における産業構造の変革・強化に向けた取組み

① GX・ゼロカーボンの推進

- ・ 再エネ導入をはじめとするGX投資の促進、次世代エネルギーの利活用、道内企業の脱炭素化に向けた事業活動を実施。
- ・ 昨年6月に「Team Sapporo - Hokkaido」を発足。豊富な資源を有する再エネ供給基地や「アジア・世界の金融センター（世界中からGXに関する情報・人材・資金が集積）」の実現に注力。

② 次世代半導体産業の集積

- ・ ラピダス(株)による次世代半導体工場の建設工事が本格化（2025年度試作ライン稼働、2027年度量産開始予定）。5兆円規模の投資案件（北海道最大）、既に9,000億円が手当。
- ・ 北海道経連は「一般社団法人北海道新産業創造機構」や「北海道次世代半導体産業プラットフォーム」を創設し、最大限の支援体制を整備。

(3) 人材不足への対応を含めた働き手の多様化への対応

- ・ 道内企業の人手不足はかつてなく深刻、採用で補うだけでは事業継続は困難。業務の効率化・省力化、従業員の育成、働き手（女性、外国人、シニア等）の多様化徹底が不可欠。
- ・ 女性の活躍推進には活躍を望む環境づくりに向けて企業や社会の意識改革が必要と認識。「女性リーダーチャレンジ研修」「女性経営層ネットワーク懇談会」等、女性の意識向上と企業側の意識改革に向けた取組みを実施。



- ・外国人労働者数が年々増加（深刻な人手不足が背景）。外国人材の人権保護を大前提に、より広く多く長く人材を受け入れる環境整備を推進。
- ・スキル・ノウハウの伝承の観点からも、就業意欲のあるシニアと企業の採用ニーズとの適切なマッチングを通じた活躍推進が必要と認識。

(4)新・地方創生に向けた経済連合会の役割（観光面）

- ・インバウンド需要（特に中国）がコロナ前水準に戻っておらず、需要の創出と消費単価の向上に向けた取組みの強化が急務。道内の関係団体等とも連携し、ワインツーリズム等、北海道らしい高付加価値コンテンツの造成・普及を推進する。
- ・北海道は広域分散型構造であることから、観光客に全道周遊を促す「北海道 MaaS」に取り組み、交流人口の増加や新たな産業集積の効果の全道波及を狙う。
- ・ネットワークを活かし、「産学官金」を結び付け、地域共創の基盤整備を通じ、新たな地方創生を着実に進める。

2. 東北経済連合会

(1)東日本大震災からの復興の現在地と残された課題

- ・東日本の太平洋側全域が被害エリアで、原子力事故との複合災害で、福島県内には帰還が困難な区域も存在しており、復興は道半ば。
- ・政府の復興創生期間は第2期(2021-2026)の途中。課題は「水産加工業の復興」「福島イノベーション・コースト構想の推進」「風評被害の払拭」。最も重いものは「福島復興」。廃炉が進む中でロボット技術の革新、それに伴うイノベーションの創出に貢献したい。
- ・東北経連として、福島イノベーション・コースト構想との連携を進めている。2023年度は福島県南相馬市で「ロボット」「航空宇宙」をテーマに地元企業とスタートアップとのマッチングを実施。
- ・各地に保存された震災遺構や語り部をネットワークする「3.11 伝承ロード」を東北地方整備局と共同で設立し、震災の教訓を後世に伝える取組みも重要視。

(2)ナノテラスや半導体産業、東北大学との連携

① ナノテラス

- ・世界最高水準の次世代放射光施設で、2024年4月に運転開始。
- ・大手企業研究所が5,000万円で利用権を購入し、年間の利用時間の枠内で利用が可能。
- ・地元企業の積極的利用を期待し、東経連として「ものづくりフレンドリーバンク」（組織）を作ったが、課題はより身近に、利用しやすいものにする事。

② 東北大学（国際卓越研究大学）

- ・「国際卓越研究大学」の初の候補に東北大学が選定され、2024年10月以降に正式認定。
- ・国内外から優秀な学生や研究者が集う、ナノテラスを中心とする東北大学の「サイエンスパーク構想」の充実に期待。経済波及効果の観点から、更に連携を進める予定。

③ 半導体産業

- ・宮城で「台湾のPSMC」の半導体投資が実行・計画されており、今年の政府要望に、「我が国の経済安全保障に資する地域産業投資の促進」を盛り込み。

(3)多様な人材の活躍推進

- ・2024年4月に会員アンケートを実施。資本金10億円以下の企業では特に関心の高い事項に6割超が「人材確保」と回答。3割超が「事業に支障が生じるほど人材が不足」と回答。
- ・同時期の日銀仙台支店の調査結果では、東北地方が「構造的な人手不足」と分析。人口減少スピードも速いため雇用形態の多様化やDX、リスクリングが重要と指摘。
- ・東北経連は、コロナ禍以降、「デュアルライフ東北」をコンセプトに首都圏からの兼業・副業受入にフォーカス。共感層、実践層の増加に取り組む。
- ・多様な人材が活躍するために、働き方改革や人事制度の見直し等、企業側の変革が必須だが、効果が実感できなければ浸透しない。女性活躍推進の強化・子育て両立支援・健康経営等を推進する企業が恩恵を得られるようなサポートを国に期待。

(4)新・地方創生に向けた経済連合会の役割（人口減少対策等）

- ・東北経連が主催し、産学官金トップ会合「わきたつ東北戦略会議」（2024年4月16日）を開催。今年度は「人口減少対策」を一貫してテーマに設定。
- ・各県、大学の取組みがバラバラで濃淡があり、社会変革を促す大きな活動・うねりに繋がっていない。会員企業アンケートでも、各社がUIJターンに取り組んでいないなど、問題・課題の全体像を踏まえた視点が不十分。
⇒この秋開催予定の今年度2回目の会議で、人口減少に関する問題・課題の全体像を俯瞰し、ベクトルを合わせるべく、議論をリードしたい。
- ・広域連携の視点を持ち、企業の目線に立って、産学官金をまとめていくのも経済連合会の大きな役割と認識。

以上